

エヌビディアが米当局からの規制

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

やはりというべきか

やはりというべきか。エヌビディアが8月31日に8月26日に米当局から新しく課された規制について発表した。リリース資料によると、最先端の一部製品(A100、H100)が対象だが、今後に開発されるA100と同等以上の能力を持った半導体も含まれる内容となっている。中国(含む香港)、ロシアへの輸出が対象で、今後、これら地域への輸出には特別なライセンスが必要となる。

米国と中国の半導体を巡る攻防は続く

現地1日にエヌビディアの株価は前日比で▼7.6%と大きく下落した。情報通信革命、データ社会の到来によって半導体の重要性は益々増加するばかりである。今回のリリース資料では、今回の規制は、中国やロシアにて同社の最先端半導体が軍事目的で使用されることを防ぐことが目的とされているが、世界経済の規模で1位の米国と2位の中国の間では、経済の覇権を巡り、お互いの牽制は続いている。米国は中国の最先端半導体の開発を抑え込む動きを強めることが予想されるが、地政学リスクの高まりから、米国は半導体製造の新たなサプライチェーンを築く動きを強めることが予想される。日本の関連企業にはメリットとデメリットが交錯しよう。

東京市場マーケットデータ

2022/9/1 現在

日経平均	2万7661円
プライム売買代金	3兆2722億円
プライム時価総額	706兆3586億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

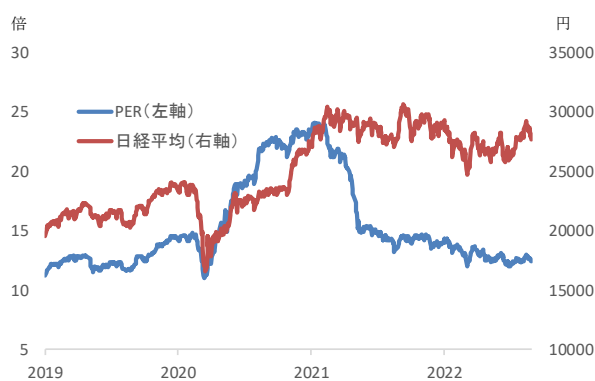
国内株式売買代金ランキング

2022/9/1 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼3.1%
2 トヨタ	▼2.3%
3 ソフトバンクグループ	▼0.9%
4 日本郵船	▼2.9%
5 東京エレクトロン	▼3.3%
6 ファーストリテイリング	▼1.4%
7 商船三井	▼3.0%
8 ソニーグループ	▼1.2%
9 三菱UFJFG	▼0.7%
10 日本製鉄	1.2%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

